

長野工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語IIIB (J)
科目基礎情報					
科目番号	0085	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	CROWN English Communication III				
担当教員	小宮山 真美子				
目的・到達目標					
科学・社会・文化などの様々なジャンルのテキストを読み、内容の理解を深める。物語であればストーリーの展開を捉えながら情報や要点をまとめ、説明文であれば書き手の意向や主張を批判的に解釈する上で、必要な読解方略を身につけられるよう学習してゆく。また、内容について英語の質問に英語で答えることを通じて、総合的なコミュニケーション能力の基本を身につける。以上により(F-2)の達成度を評価する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
新しく学ぶ英単語や熟語の意味を正しく理解し、運用することができる。	新しく学ぶ英単語や熟語の意味のほとんどが言え、書くことができる。	新しく学ぶ英単語や熟語の意味を6割くらい言え、書くことができる。	新しく学ぶ英単語や熟語の意味の半分以下しか言えず、書くこともできない。		
新しい英文法を学び、文章の意味を日本語訳できるようになり、またその文法を使って英作文が作れる。	新しい英文法を使った文章の意味をほとんど日本語訳でき、またその文法を使ってほぼ完璧に英作文が作れる。	新しい英文法を使った文章の意味を6割くらい日本語訳でき、またその文法を使って6割くらいの英作文が作れる。	新しい英文法を使った文章の意味をほとんど訳せず、またその文法を使った英作文もほとんど作れない。		
パラグラフや文章全体の内容を理解し、それに対して文化的・専門的な情報を収集し、自分なりの視点から意見を述べられる。	パラグラフや文章全体の内容をほぼ完璧に把握し、それに対して多角的視点から独創的な意見を述べられる。	パラグラフや文章全体の内容を6割くらい把握し、それに対して自分なりの意見を述べられる。	パラグラフや文章全体の内容をほぼ把握しておらず、それに対して意見も述べられない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	様々なタイプのテキストに触れ、読解力を養う。物語であれば登場人物の心理やストーリーの展開を捉えながらテーマに迫り、説明文であれば具体例を把握しながら書き手の意向や主張を批判的に読む力を養う。英語の質問に英語で答えることにも力点を置き、英語による総合的なコミュニケーション能力の伸長を図る。				
授業の進め方と授業内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業方法は座学を中心とし、クラス全体での英文解釈をする。 ・適宜、課題プリント、ノートチェック、確認テストを課す。 ・課題は期限に遅れずに提出すること。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー：水曜日 14:30～16:00 この時間以外でも必要に応じて来室して下さい 				
授業計画					
		週	授業内容・方法	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション LESSON 1: Life as a Journey	<ul style="list-style-type: none"> ・英語Ⅲの授業・学習方法について説明。 [人生・日本文化/説明文・エッセイ] ・日本語と英語で表現される俳句を鑑賞し、その違いを味わう。 ・日本の雄大な自然に心動かされた芭蕉の心情を、自分の感情をことばで表す。 ・旅の厳しさと素晴らしさ、また旅が人生に与える影響について考え、意見を述べる。 	
		2週	LESSON 1: Life as a Journey	同上	
		3週	LESSON 2: God's Hands	<ul style="list-style-type: none"> [人生・医療/インタビュー] ・心臓外科医がこれまでに経験した苦難の体験を読み取る。 ・「天才」と呼ばれる人の陰の努力について読み取る。 ・判断の早さや的確さは経験に裏打ちされることを知る。 ・医師や医療の在り方についての自分の意見を発表する。 ・「人生における成功」について考え、発表させる。 	
		4週	LESSON 2: God's Hands	同上	
		5週	LESSON 3: Captured by Art	<ul style="list-style-type: none"> [芸術/説明文] ・美術館ではなく街中に現れるインスタレーションアートを楽しみ、さらにそのアーティストが目指していることを読み取る。 ・アートの定義について考える。 	
		6週	LESSON 3: Captured by Art	同上	
		7週	LESSON 3: Captured by Art	同上	
		8週	理解度の確認		
	2ndQ	9週	LESSON 4: Does Money Make You Mean?	<ul style="list-style-type: none"> [社会・経済/説明文] ・ポール・ピフがおこなった実験の内容と結果をの概要や要点を正しく読み取る。 ・経済状況の違いが人の行動に影響を及ぼすかどうか考える。 ・世界の経済格差の問題の改善策について考える。 	
		10週	LESSON 4: Does Money Make You Mean?	同上	
		11週	LESSON 5: The Biggest Event in Human History ... Or the Last?	<ul style="list-style-type: none"> [科学/論説文] ・AIの現状を知り、今後期待される可能性について考える。 ・AIが人間にもたらす利点と脅威について学ぶ。 ・AIとの共存のために人がすべきことを考え、話し合う。 	

後期		12週	LESSON 5: The Biggest Event in Human History ... Or the Last?	同上		
		13週	LESSON 6: Only a Camera Lens between Us	[人生・平和/説明文] ・瀬谷ルミ子が現在の道に進むきっかけとなった出来事を読み取る。 ・紛争後の平和構築における行程で必要なことを読み取る。 ・社会貢献のあり方について考える。		
		14週	LESSON 6: Only a Camera Lens between Us	同上		
		15週	LESSON 6: Only a Camera Lens between Us			
		16週	前期未達成度試験			
	3rdQ		1週	LESSON 7: Being Bilingual	[言語・比較文化/説明文] ・日本にいと気づきにくい、世界の二言語併用の現実について理解する。 ・母語をめぐって争われた歴史を知り、それがアイデンティティ形成に同結びつくのかを考える。 ・日本で英語を公用語にすることや、日本で各言語のサービスを行うことについて、自分の意見を持つ。	
			2週	LESSON 7: Being Bilingual	同上	
			3週	LESSON 7: Being Bilingual	同上	
		4週	LESSON 8: The Magic of Reality	4週	[科学/論説文] ・不思議な出来事に出会ったときにすべき判断の基準を正確に読み取り、そうした態度が科学の発展に寄与してきたことを理解する。 ・科学と「真実」の関係について考える。 ・世間で一般的に信じられていたことに反論した人物について学ぶ。	
				5週	LESSON 8: The Magic of Reality	同上
				6週	LESSON 8: The Magic of Reality	同上
				7週	LESSON 8: The Magic of Reality	同上
				8週	理解度の確認	
	4thQ		9週	LESSON 9: Green Revolution, Blue Revolution	[環境/論説文] ・食料危機から水危機への流れを把握する。 ・世界の水危機について理解する。 ・ヴァーチャルウォーターの概念と、その輸出入の利点を理解する。 ・水危機の解決法、また他の危機について話し合う。	
			10週	LESSON 9: Green Revolution, Blue Revolution	同上	
			11週	LESSON 9: Green Revolution, Blue Revolution	同上	
12週		LESSON 10: Looking into the Eye of History	12週	[平和/スピーチ] ・スピーチのこぼれや表現を鑑賞する。 ・オバマ氏の平和に対する思いを読み取る。 ・スピーチの目的、聴衆に主張を伝える上でどのような要素が必要かを考える。		
			13週	LESSON 10: Looking into the Eye of History	同上	
			14週	LESSON 10: Looking into the Eye of History	同上	
			15週	LESSON 10: Looking into the Eye of History	同上	
			16週	学年未達成度試験		

評価割合

	試験	小テスト	授業参加態度	課題	合計
総合評価割合	70	10	10	10	100
基礎的能力	70	10	10	0	90
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	10	10